

平成 25 年度横浜市一般会計補正予算（第 4 号）  
政策局関係部分の概要について

1 補正予算（政策局関係）の内訳

- (1) 職員人件費の減額
- (2) i P S 実用化拠点の整備（先端医科学研究センターの増築）
- (3) 横浜市世界を目指す若者応援基金への寄附金の積立て

（単位：千円）

款 項 目	補正額	補正額の財源				説 明
		特定財源			一般財源	
		国庫 支出金	市債	その他		
2 款 総務費	703,591	0	0	100,000	603,591	
1 項 政策費	703,591	0	0	100,000	603,591	
1 目 政策推進費	603,591	0	0	0	603,591	
職員人件費	▲ 131,409	0	0	0	▲ 131,409	給与減額措置に伴う減少額を補正
i P S 実用化拠点整備事業	735,000	0	0	0	735,000	経済・市民生活対策による補正
2 目 国際交流費	100,000	0	0	100,000	0	
世界を目指す若者応援基金積立金	100,000	0	0	100,000	0	寄附金を活用した基金設置に伴う補正

裏面あり

## 2 i P S 実用化拠点整備事業

### (1) 事業概要

本市では、国際戦略総合特区における革新的な創薬や医療機器の開発、i P S 細胞を活用した再生医療の実現により、経済成長や市民への還元を目指した取組を行ってきました。

こうした中、平成 25 年 7 月に市大谷口教授のグループの研究が、日本科学技術振興機構 (J S T) から、i P S 細胞を活用した再生医療実現拠点の全国 10 か所の中の一つとして位置づけられました。平成 27 年度秋には中間評価が行われますが、この i P S 実用化拠点としての研究成果を確かなものとしていくために、市大が実施する先端医科学研究センター研究棟の増築工事を支援します。

### (2) 支援内容

#### ア 増築規模

	<増 築>	<既存棟>
建築面積	210 m <sup>2</sup>	555.98 m <sup>2</sup>
延床面積	1,050 m <sup>2</sup>	2,088.49 m <sup>2</sup>
連絡通路	75 m <sup>2</sup>	

#### イ 補正予算の内容

増築にかかる設計・工事費

735,000 千円

なお、全額、繰越明許費を設定

先端医科学研究棟  
(2,088m<sup>2</sup>)

増築スペース  
(1,050m<sup>2</sup>)

事務室・会議室	5F	新産業創出拠点 国際戦略総合特区推進室 企業連携室
臨床研究支援部門 バイオインフォマティクス解析室	4F	難病遺伝子解析室 難病遺伝子解析研究室 遺伝子解析サーバ室 DNA保管室 バイオバンク室
細胞機能解析室・細胞培養室 イメージング解析室(仮称) 細胞分離室 産学連携ラボ	3F	再生医療開発室 組織解析室 企業連携室
質量分析室・生化学実験室 低温実験室・細胞培養室 産学連携ラボ	2F	疾患モデル動物実験室 疾患モデル動物解析室 企業連携室
細胞加工室・細胞保存室	1F	疾患モデル動物実験室 疾患モデル動物開発室

## 3 世界を目指す若者応援基金積立金

寄附金を受け入れ、国際社会を舞台に活躍を目指す若者を育み応援するため新たに「横浜市世界を目指す若者応援基金」を設置し、基金に積み立てます。

### 世界を目指す若者応援事業 (平成 26 年度予算案) 1,000 万円

「横浜市世界を目指す若者応援基金」を活用し、国際社会を舞台に活躍を目指す若者を育み、応援する事業 (世界を目指す若者応援事業) として、市内在住・在学の高校生 の留学を支援します。

- 高校・市民団体が実施する姉妹校等留学プログラムによる留学 (30 人/年)
- 高校生の個人留学 (5 人/年)